



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月31日

上場会社名 日本ギア工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6356 URL <https://www.nippon-gear.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 治夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 林 秀樹 TEL 03-6363-3170
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,155	30.6	445	111.9	459	108.4	298	56.0
2023年3月期第1四半期	1,650	5.3	210	—	220	—	191	61.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	20.95	—
2023年3月期第1四半期	13.43	13.42

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	12,695	9,736	76.7	683.86
2023年3月期	12,716	9,439	74.2	663.03

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 9,736百万円 2023年3月期 9,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	4,000	25.6	220	2.4	230	△0.4	160	△17.9	11.24
通期	8,400	11.7	650	△32.6	680	△32.0	480	△29.9	33.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	14,280,000株	2023年3月期	14,280,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	42,576株	2023年3月期	42,526株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	14,237,437株	2023年3月期1Q	14,237,805株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、ロシアのウクライナ侵攻による影響で物価が上昇し、未だ先行き不透明な状況が続いております。

当社のセグメント別受注状況は、歯車及び歯車装置事業では、ジャッキ、その他増減速機の受注は増加いたしました。また、バルブ・アクチュエータ、歯車は減少いたしました。工事事業においては、受注は増加いたしました。

その結果、当第1四半期累計期間の受注高は、28億27百万円（前年同期比3.1%増）、売上高は、21億55百万円（前年同期比30.6%増）となりました。また、当第1四半期会計期間末の受注残高は、54億49百万円（前事業年度末比14.1%増）となりました。

損益面につきましては、売上原価が11億72百万円（前年同期比27.1%増）、販売費及び一般管理費は5億37百万円（前年同期比3.8%増）となりました。これにより、営業利益は4億45百万円（前年同期比111.9%増）、経常利益は4億59百万円（前年同期比108.4%増）、四半期純利益は2億98百万円（前年同期比56.0%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

①歯車及び歯車装置事業

a. バルブ・アクチュエータ

受注高は、原子力発電所、化学向けが減少したことにより前年同期比4.3%減少いたしました。売上高につきましては、原子力発電所・石油・ガス向けが増加したことにより前年同期比35.8%増加いたしました。

b. ジャッキ

受注高は自動車用、半導体・液晶向けが増加したことにより、前年同期比21.1%増加いたしました。売上高につきましても、自動車用、半導体・液晶向けが増加したことにより、前年同期比34.8%増加いたしました。

c. その他増減速機

受注高は、電力、上下水道向けが増加したことにより、前年同期比18.1%増加いたしました。売上高は電力、石油・ガス向けが増加したことにより、前年同期比21.9%増加いたしました。

d. 歯車

受注高は特殊車両用、鉄道船舶用が減少したことにより、前年同期比15.5%減少いたしました。売上高は、前年同期と比較してほぼ同額となりました。

②工事事業

受注高は電力、原子力発電所向けが増加したことにより、前年同期比16.0%増加いたしました。売上高につきましても電力、原子力発電所向けが増加したことにより、前年同期比33.9%増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ62百万円減少し92億46百万円となりました。これは主に売上債権が93百万円、棚卸資産が84百万円増加いたしました。現金及び預金が2億50百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ41百万円増加し34億48百万円となりました。これは主に有形固定資産が13百万円、前払年金費用が31百万円減少いたしました。投資有価証券が81百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末と比べ3億17百万円減少し22億24百万円となりました。これは主に仕入債務が48百万円増加いたしました。未払法人税等が1億63百万円、賞与引当金が1億6百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末と比べほぼ同額の7億34百万円となりました。

純資産は前事業年度末に比べ2億96百万円増加し97億36百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億41百万円、その他有価証券評価差額金が55百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の実績値が2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました第2四半期累計期間の業績予想を上回っておりますが、夏場の電力需要期には発電所の定期点検が抑制され売上が減少する可能性があります。また費用につきましても、新製品等の研究開発費の支出を第2四半期会計期間以降に計上していく予定であります。現時点では売上予想・費用発生予想が困難なことから利益を合理的に算定できないため業績予想は変更していません。今後、利益予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,303,292	4,053,197
受取手形、売掛金及び契約資産	1,986,193	2,029,150
電子記録債権	1,020,541	1,070,707
商品及び製品	262,630	150,651
仕掛品	397,811	469,459
原材料及び貯蔵品	1,276,567	1,401,450
その他	62,133	72,023
流動資産合計	9,309,170	9,246,640
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他(純額)	611,306	598,116
有形固定資産合計	1,624,597	1,611,407
無形固定資産	119,319	126,423
投資その他の資産		
投資有価証券	666,109	747,370
前払年金費用	922,146	890,176
その他	79,411	78,131
貸倒引当金	△4,560	△4,560
投資その他の資産合計	1,663,107	1,711,118
固定資産合計	3,407,024	3,448,949
資産合計	12,716,194	12,695,590
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	420,700	523,132
電子記録債務	762,832	708,541
1年内返済予定の長期借入金	142,877	142,877
未払法人税等	322,238	158,956
賞与引当金	209,398	103,224
その他	683,420	587,396
流動負債合計	2,541,466	2,224,127
固定負債		
長期借入金	366,464	329,961
退職給付引当金	1,475	1,475
資産除去債務	167,042	167,087
その他	199,849	236,465
固定負債合計	734,831	734,989
負債合計	3,276,297	2,959,116

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	844,542	844,542
利益剰余金	6,972,910	7,214,188
自己株式	△15,638	△15,663
株主資本合計	9,190,614	9,431,867
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	249,282	304,606
評価・換算差額等合計	249,282	304,606
純資産合計	9,439,896	9,736,473
負債純資産合計	12,716,194	12,695,590

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,650,029	2,155,381
売上原価	922,323	1,172,595
売上総利益	727,705	982,785
販売費及び一般管理費	517,450	537,261
営業利益	210,254	445,524
営業外収益		
受取配当金	10,039	10,916
出向者負担金	864	3,665
その他	1,064	2,146
営業外収益合計	11,968	16,728
営業外費用		
支払利息	1,018	669
支払手数料	375	370
為替差損	174	961
その他	12	335
営業外費用合計	1,580	2,337
経常利益	220,642	459,915
特別利益		
退職給付に係る数理差異償却益	65,282	—
特別利益合計	65,282	—
税引前四半期純利益	285,924	459,915
法人税等	94,781	161,686
四半期純利益	191,143	298,228

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期貸借対照表)

従来、「流動資産」の「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めていた「電子記録債権」及び、「流動負債」の「支払手形及び買掛金」に含めていた「電子記録債務」は、金額的重要性が増したため、当第1四半期会計期間より独立掲記することとしました。

(四半期損益計算書)

前第1四半期累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「出向者負担金」及び、「営業外費用」の「その他」に含めていた「為替差損」は、金額的重要性が増したため、当第1四半期会計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期累計期間の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期累計期間の損益計算書において、「営業外収益」の「その他」1,928千円は、「出向者負担金」864千円、「その他」1,064千円として組替えており、「営業外費用」の「その他」186千円は「為替差損」174千円、「その他」12千円として組替えております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
一時点で移転される財	1,255,246	332,773	1,588,020
一定の期間にわたり移転される財	—	62,008	62,008
顧客との契約から生じる収益	1,255,246	394,782	1,650,029
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,255,246	394,782	1,650,029
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,255,246	394,782	1,650,029
セグメント利益	142,411	67,842	210,254

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）
該当事項はありません。
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
一時点で移転される財	1,626,630	393,288	2,019,919
一定の期間にわたり移転される財	—	135,462	135,462
顧客との契約から生じる収益	1,626,630	528,750	2,155,381
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,626,630	528,750	2,155,381
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,626,630	528,750	2,155,381
セグメント利益	294,301	151,222	445,524

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）
該当事項はありません。
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。